

会 議 録

□全部記録 ■要点記録

1 会議名	姫路市総合計画策定審議会 第4分科会 第4回会議
2 開催日時	令和2年7月13日（月曜日） 10時00分～11時50分
3 開催場所	姫路市防災センター3階 第1・2会議室
4 出席者又は欠席者名	姫路市総合計画策定審議会委員 第4分科会 委員 12人中 9人（3人代理） 姫路市総合計画策定審議会参与 5人中 3人
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可（5人） 傍聴人（2人）
6 議題又は案件及び結論等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 審議 3. その他 4. 閉会
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

事務局	<p>1 開会 (10:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日は、大変お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。ただいまから姫路市総合計画策定審議会第4分科会第4回会議を開催させていただきます。 ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、分科会については4月に予定していた会議が延期となり、約3カ月遅れての開催となったが、総合計画については市政の大きな方向性を示す重要な計画であるため、当初の会議スケジュールは変更するが、総合計画の策定自体は予定どおり本年度中の策定を目指して取り組んでいきたいと思う。 ・委員の皆様におかれては、新型コロナウイルス感染症への対応も含め、大変ご多忙のところご出席賜り、感謝申し上げます。引き続きご審議をよろしく願います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料確認 ・欠席委員等確認 ・ここからの議事の進行については、会長に願います。
分科会会長	<p>2 審議 (テーマ：都市基盤分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久々の分科会である。4月、5月はコロナウイルスで流れてしまい、7月に再開することができた。この後、しっかりと審議をしていきたいと思う。 ・「当日資料1 都市基盤分野 分野目標 (案)・政策 (案)」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>[説明資料] 都市基盤分野 分野目標 (案)・政策 (案)</p>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は都市基盤分野、次回は防災・安全安心分野になるが、それぞれ今ご説明いただいた「目指す姿」と「現状と課題」を昨年審議して決めてきた。今回と次回で、「目指す姿を実現するための方向性」や「市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること」など、具体的な各論を一つずつ詰めていき確定していきたい。

委員	<p>・今、全部の説明をしていただいたので、それぞれ1点ずつ審議していければと思う。まず、資料1-1、政策1「地域の特性を活かしたまちづくりの推進」について、「目指す姿を実現するための方向性」と、「市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること」の部分、これを中心に今から審議をしていただく。もしその他の項目についてもご意見等があれば受け付けるので、よろしくお願いします。</p> <p>・語句のことだが、「それぞれの地域において」のところを「地域に適切な」と言い切るとまずいか。それを統合して、市として暮らしやすい活力のあるまちになるというイメージ。例えば、北部とか、この前の議論で、それぞれの地域に応じた地域のコンパクトな拠点化の話がされていて、かなり広い特性を持った地域であるので、「地域において」でもいいが、「適切な」と言い切ったほうが、やるほうとしては分かりやすくいいかと思う。イメージとしては、各地域にまちがあって、それが統合された形で姫路市全体があると、もう少し言い切ったほうがいいのではないか。</p>
分科会会長	<p>・「目指す姿」については、一応、現在の案で決まっているので、これをベースに考えたいと思う。ご意見の内容については各論のところを出していただきたい。事務局は今のご意見に対して何かあるか。</p>
事務局	<p>・「目指す姿」については中間報告の審議会においてご承認いただいているので、方向性を検討する中で、どうしても「目指す姿」と方向性が一致しない場合は修正が必要であるが、そうでなければ原案のままかせていただきたい。</p>
委員	<p>・了解した。</p>
委員	<p>・政策1の方向性ウ「ユニバーサルデザインのまちづくり」の具体的なことを知りたい。例えば、障害者や外国人、特に障害者が駅を出たときに、ここはどの辺であるとか、あるいは右側にはこれがあるという音声案内が出る信号を作られる予定はあるか。日本のどこかは分からないが、そういう</p>

事務局	<p>まちがあると聞いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それは視覚障害者がアプリか何か持っていたときに、信号のところに行くとか案内が聞けるというシステムのことか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。姫路にはそういう信号はあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・6月27日にタウンミーティングがあり、視覚障害者の方が出席された。その中のご意見として委員が言われたような意見があった。そういうものがあるというのは認識しているが、私どもが把握している範囲では、現在、本市にはないと聞いている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特色があるというか、姫路へ行けばこんなものがあると全国に発信するために、そういうものが一つ欲しい。 ・もう一つは、方向性エについて、阿保地区や英賀保駅周辺の整備が進んでいるが、姫路駅周辺に入る前に、できたら一駅手前で自動車は駐車場に入って、そこから姫路駅に電車で行く、それから、姫路のまちを回るといったような計画はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク&ライドの考え方のことかと思う。 ・今、英賀保駅と具体的に言われたが、姫路は市域が非常に広いことがあり、もう少し中心部から離れたところではそのような取組を行っている。太市駅でもそのような取組がなされているが、実際の利用状況としてはなかなか難しい状況であると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路をPRするために特色のあるものを何か一つ打ち出せないか。例えば土曜日・日曜日になると姫路城周辺の駐車場に車がいっぱい並ぶ。この間の週末に特にそう感じた。一駅手前で車を降りて、電車に乗って、姫路駅から歩いて姫路城に行く。そうすると車も減るし、姫路のまちはこんなところだと全国に先立って目立つ。そういう良いところが一つでも増えていけばいいと思う。

事務局	<p>・パーク&ライドは政策2の内容に関わってくるかと思う。姫路市では今、自転車利用も促進していて、お分かりの方もいると思うが、道路に青いラインを塗っているところがある。あれが自転車レーンで、そういった区域を広げていくことで、自家用車から自転車への利用転換を進めている。</p>
委員	<p>・その件で一つ。自転車レーンは大変良いことだが、道路自身が狭いため自転車の通るところが1メートルほどしかなく、自転車の人が危ないと感じる。ところが、大津イオンの辺りは、道はそんなに広くないが、歩道の幅を2メートル余り取っている。あんなに広くなくても、歩道をもう少し狭くして、自転車が通りやすいようにしてもらえればと思う。特に高校生などは自転車で通学するが、危ないから歩道を通っている。それが現実で、自転車レーンを通っている人は少ない。これから整備されるときはもう少し幅を広くしてほしい。</p>
事務局	<p>・自転車レーンは、比較的道路が広いところで整備している。歩道はあくまで歩行者の安全を確保するものであり、歩道を自転車が通るのは危険なので、それを回避するために道路側に自転車レーンを設けている。</p>
委員	<p>・今言われたように歩道と車道の取り合いというのが、交通計画の中で一番難しいことで、歩道幅員の基準も時代により変わっている。やはり自転車の場合、一つは回遊性だと思う。途切れると歩道に入り込むので、姫路駅周辺や城周辺であれば、回遊性のある一つのモデルとしてつなげて、ぐるっと回れるようにするとか、そういう計画があればもう少し観光客が乗りやすいと思う。途切れているとどうしても難しくなる。</p>
委員	<p>・二人の委員が言われた道幅に加えて、学校の生徒や一般市民に対する自転車マナーの啓発活動を同時に進めていかないと、道がいくら良くなっても、マナーが悪ければ迷惑をかける。法律が変わって、自転車に対しても車に対しても罰則があるという法令が施行された状態で、自転車マナーを守らなければいけないということも、市として同時に進めて、姫路のまちを</p>

分科会会長	<p>安心して走れるようにしていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車には免許はないが、道交法上は車両であるから、基本的には全て道交法の違反行為が適用される。委員が言われるように、特に小学校、中学校に対して、自転車ルールの啓発活動を警察と一緒にやっていただいているが、市としても積極的に啓発していただいて、誰もが自転車に安全に乗っていただく体制をとっていただければ、方向性に反映できると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「土台」の方向性エの、計画的なまちづくりの中で、「居住や都市機能を適切に規制・誘導」という言葉があるが、先々週から九州の豪雨で、各居住地域や河川エリア、防災の危険区域が注目されている。100年に1回と言われる豪雨が毎年あって、住んでいる土地が本当に安全かどうか、県もハザードマップを作っている。東日本大震災のときでも事後に津波があり、その後に高台移転があった。最近では、河川の危険区域には住まずに、安全な地域を指定して、そこへ移住してもらおう都市づくりをしていこうという議論が必要だという意見が出てきている。 ・その中で、播磨地域は大きな災害は起こっていないが、想定として大きな河川の区域、市川エリアも10年に一度、本当に危険水域まで達して避難したり、北部地域、山間部でも土砂災害の危険がある。想定として一足飛びにそこまでというのは難しいかもしれないが、居住の規制・誘導をどこまで想定して、どのようなタイムスパンでやっていくのか。当然、災害が起きれば、事後にそのことを検討する必要はあるが、市側の考えをしっかり整理しておく必要があると思う。
代理	<ul style="list-style-type: none"> ・私は初めて代理で出て、今までの経緯を十分承知していないので的外れの質問になるかもしれないが、分野目標に道路や橋梁、上下水道等々が記述されている。橋梁も建設後50年以上が8%ということで、1割ぐらいが老朽化しており、当然橋梁の改修は必須だと思う。 ・河川の危険水位を超えるようなことがかつて起きていることからすると、市民の安全・安心の上からも、護岸整備も重視していかなければいけない。また、市川も堤防が阿成植木のところが大きく浸食されていて、なかなか

	<p>通常の点検では分からなくて、地域の住民から話があって応急対応していただき、恒久的な改修工事をして、大きな雨でも被害はなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の河川では、そのような危険な堤防はないのかどうか。整備や点検は十分行われているかどうか、お聞きしたい。また、そうしたことに対する対応についても記述が必要ではないか。 ・もう一つは、資料1の「主な都市施設の整備年次」で、手柄山中央公園は第1期に新体育館など、また第2期に植物園と記載されているが、これはあくまでも姫路の魅力を高めるということで、体育館や市民プール、植物園が例示されていると理解している。周辺の勤労市民会館も非常に利用者が多くて、いつも駐車場が満杯である。近くに公園の駐車場があるが、少し離れているので、常に勤労市民会館は大変な状況になっている。それで、この手柄山中央公園の整備の中に勤労市民会館は入っているかどうか、それも関連してお伺いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市川は県が管理しているのでお答えする。今、ご指摘の市川だが、従来からの災害対応として、中州ができて木が生えて、それが危ないので、昨年から今年にかけて木の伐採をしている。また、必要箇所から掘削、しゅんせつを順次進めている。もちろん護岸整備も、ところどころ護岸が流されているところがあるので、河川の整備計画を作って、土木事務所で年次計画に沿って、一番危険であったり掘削の必要性の高いところから、順次計画的に整備している。
代理	<ul style="list-style-type: none"> ・一級河川、二級河川の話は別として、市域内には準用河川、市の管理河川が結構あると思うので、それも併せて質問した。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市の管理河川についても同様に点検をして、必要な改修を計画的に進めている。また橋りょうについても資料1の図にあるように、今後、50年以上経つような老朽化した橋梁が増えることから、費用の平準化を図るため、計画的に点検・改修を進めている。 ・2点目の手柄山中央公園の整備区域の中に勤労市民会館が入るのかというご質問については、勤労市民会館、また併設の総合スポーツ会館は区域

分科会会長	<p>外になり、入らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1の分野目標についてもご審議を頂こうと思っていたが、政策1から4を先に全部終えてから前に戻りたい。最初にしてしまうと、それに縛られる気がしたので、資料1の分野目標については最後にそれで良いか確認したいと思う。 ・何かあればまた後で伺うので資料1-1はこれぐらいにして、次は資料1-2の政策2について議論したい。「交流連携を支える交通環境の充実」で、「目指す姿」を若干修正されたということ、それを踏まえた「現状と課題」までは前回議論いただいた。今説明いただいた「目指す姿を実現するための方向性」のアからカについて、ご意見等があればお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に伴う社会状況の変化を見据えた計画とする場合、当社ではワークスタイルの変化等により、利用者は対前年比で8割しか戻っていないことから、作成最終段階でもよいので、直近の状況を確認し、文言の加筆を検討いただきたいと思う。具体的には、現状と課題の1つ目の丸の「本市の公共交通利用者は、近年、微増傾向にあります」というところで、例えばコロナ発症以前は微増傾向にあったが、現状はそういう状況でなく、今後もどれだけ戻ってくるか不透明な状況なので、よろしくお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1点目の公共交通利用者は近年、微増傾向にあるという趣旨は、コロナとは切り離して、近年の傾向として自動車利用から公共交通利用にシフトして、割合が増えている現状を表現している。コロナは特異な原因と思う。交通事業者も含めいろいろな企業に経済活動への影響が出ているが、その部分については第2分科会の産業分野のほうで、「現状と課題」、あるいはそれに対する対応ということで、「目指す姿を実現するための方向性」のほうにも、その対応の方向性を示しているので、ここでそれを書くかどうかは検討させていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1に戻って申し訳ないが、目指す姿2のほうの土台のキに「規

	<p>制による景観誘導」と書いている。これは市条例か何かを作られると理解して良いか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・景観に関しては、既に屋外広告物条例があるので、それに基づいて規制していくということである。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-2で何かあれば意見を欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ここにパーク&ライドが入れられるのではないか。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク&ライドは、入れるとすればこちらのほうが適切かなと考えるが、具体的に書くかどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク&ライドという言葉自体は、具体的な事業になってくるので、実施計画のほうで言葉を入れるようになる。方向性のところに入れるのは適さないと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・MaaSについて少し説明していただきたい。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「ICT等を活用したMaaS」について説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、スマホのアプリで、目的地までの最短経路や料金を教えてくれるシステムである。さらに、それを拡張すると、旅行の際の移動に加えて、宿泊するホテルなどについても駅の近くにこういうホテルがあるとか、旅行がスムーズにできる便利なシステムである。 ・Mobility as a Serviceという言葉の頭文字を取ったもので、アプリで住民あるいは旅行者の旅行が円滑に進むように、一つの交通事業者ではなく、複数の事業者が絡むことによって検索や予約や決済まで一貫してできるというイメージである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の決済まで入るのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・決済も入る。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市としての計画とか、商店街などの活性化にも使えるようなアプリだという理解でいいか。そこまではいかないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらかという、鉄道、バス、タクシーといった交通事業者がそれぞれ連携して、最短の移動ができるようなシステムを構築して、それを市民の方が使われるという形である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実際、旅行のアプリとしてジョルダンなどがあるが、それに市として付け加えるというイメージか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらかという、市は交通事業者のされることを促進させていくということである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・海外でよくあるように、民間の駐車場とも連動して、駐車場の空き情報が把握できるように、拡大したような感じでMaaSを考えられると、すごくいいと思う。プログラム上、難しいかもしれないが、できるならそこまでやるといい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験の段階だが、例えば地域を限定してやっていくことは十分可能である。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・どこが開発するかにもよるし、姫路市がやるというわけではないので、そこをどうするかはここで決めることではないと思う。 ・いきなりMaaSと言われても恐らくほとんどの人は分からない。こういう言葉を出すときには、市民の方がすぐこれは何だということが分かるように書いてほしい。我々専門家も反省しないとイケないが、我々の分かっていることが一般の方に分かるかという、そうではない。一般の方々が分かるように、このような略記号や片仮名の言葉は、どこかで説明なりして

	<p>いただければありがたい。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかに、資料1－2に関して何か意見はないか。
代理	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性アの「公共交通網の構築」について、公共交通の空白地域にデマンド型乗合タクシーの導入、あるいは買物支援、そういうことが少しずつ始まっているが、料金の問題や課題もあるように思う。文章の最後にある「行政や交通事業者だけでなく地域住民の参画と協働により進めます」ということは、それなりに理解しているが、市として、デマンド型の乗合タクシーについては何か支援をしているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型乗合タクシーについては、一昨年、市内の2カ所で社会実験を行って、その成果を踏まえて本格的に導入したところである。
代理	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験は市が先導してやっていると思うが、今後進めていく上で、市の支援も検討されているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型乗合タクシーとコミュニティバスの運行に関しては、市のほうが支援して取り組んでいく。
代理	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、人口減少の時代だから、こういう地域がこれから広がってくるので、地域住民の参画と協働は当然のことと思うが、積極的な支援を要望したい。社会実験の中でも結果としてそういうことは考えられているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験をして、その利用頻度がどれぐらいあるかが一番大事なところで、その利用頻度に応じて本格稼働するかどうか決めていくが、その中ではルートの見直しなどの検討も含めて、市民の方が移動しやすいように市もできるだけ応援していくスタンスである。

代理	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんどん人口が減少している地域だから、利用頻度はあまり期待できない。そこらは需要と供給の問題で難しい課題と思うが、やはり行政のバックアップが、こういった新しい施策を推進する上ではついて回ると思うので、その辺はよろしく願います。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1-2の裏側に「期待すること」というのもあって、これでいいかという確認だけは取っておきたいと思う。
参与	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「土台」のオ「歩道、自転車道などの整備」のところに「電線類の地中化を進める」と書いているが、今、市も県も植樹の撤去を進めている。前は伐採だけだったが、車が大きい道に入るとき植樹があっ見えにくく危険な場所がある。どこもかしこも切られては困るが、その辺も1点入れていただければと思う。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ このことに関して事務局に検討をお願いする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 承知した。検討する。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策3「緑と調和した快適な住環境の形成」に進む。「目指す姿1」を少し修正され、それを踏まえた「現状と課題」を受けて、「目指す姿を実現するための方向性」についてご議論いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「土台」のイ「安心して暮らせる住宅の提供」の2つ目について、文言の修正を求めるのではないが、DV被害などで離婚を考えておられる子育て世帯の方を担当することが多い。今の市営住宅の申込みは別居中でもできるが、完全に離婚が成立していないと入居を受け付けていただけないので、離婚後の生活設計が立てにくいし、不利な条件での離婚を余儀なくされることが多い。離婚前提での調停中とか何らかの要件は要と思うが、そこはぜひ改めていただきたい。文言に反映させるのは難しいと思うが、運用上の柔軟な対応をお願いしたい。

分科会会長	・ありがとうございます。検討をお願いします。
事務局	・個別計画というか個々の所管の話になってくるが、文書の中では方向性 イの丸の2つ目の「住宅の確保に配慮が必要な方が安心して暮らせるよう」 というところに、そのような部分も包括されている。
分科会会長	・具体的に施策を行うときに、そういうものが入ってくるということでご 理解いただけるか。 ・目指す姿2の「緑と調和した都市空間」はいかがか。こちらは最後に全体 として「期待すること」も書いているので、これも含めてご意見を頂ければ と思う。
委員	・方向性キだが、手柄山中央公園というと、市として、あるいは県、西播の 中で重要な公園であるとか、その辺の位置づけがあるのかなと思う。広域 の中でこれだけの規模を持っているところはなかなかない。そういうこと を少し書けばよいと思う。昔と今の手柄山のイメージは非常に違っていて、 プロバレーボールの大会があったり、大きな全国大会で使ったり、今度オ ペラをやられるところは新しく立派な施設ができる。
分科会会長	・新しい施設とは文化コンベンションセンターのことか。
委員	・はい。西播にそういう地域はなかなかない。だから、広域的な位置づけを すれば、すごくいいと思う。文言のところだが、「スポーツ」や「平和と学 び」という形容詞と違う位置づけがあるのかなと思う。そうすると、誇りを 持って、手柄山をもっと整備していただけたらと思う。
事務局	・現状と課題の3点目には、手柄山中央公園の位置づけを書いているが、 言われたように、広域的な書き方でなく、市の中での位置づけという形の 書き方になっていると思う。
委員	・強いバレーボールチームになっているし、それも全国版になっていけば、

<p>分科会副会長</p>	<p>すごくいいかなと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手柄山中央公園の話が出たが、文化センターは姫路駅（イベントゾーン）のほうに行くが、駐車場は既存のまま残る。だから、観光に来られた方がお城周辺に駐車場がないというときに、手柄山には広い武道館の駐車場もあるし、今使っている文化センターのところが空き地になっても、緑の相談所はそのまま残るので、駐車場はたくさんあると思う。だから、観光に来られ方は、そこに一度車を止めて、シャトルバスか何かを土曜日・日曜日に出していただければ、最初のほうに出ていた課題の姫路城や美術館、文学館の交通渋滞が緩和される。せっかく新しい駅もできて、きれいになる。だから、車ではなくて公共交通で来られた方も、姫路駅で下りるのもいいが、新駅まで行って、新しい公園を見学しながらシャトルバスに乗って、姫路城に観光に行ってもらえるような大きなテーマを考えてはどうか。またプールができるが、プールがないと夏休みの間は車が止まらない。駐車料は200円だから、ほかの駅ではなくて、料金の安い駐車場が残るのであれば、そういう利用の方法もある。 ・素敵な武道館もあるし、全国空爆死没者慰霊塔もある。それも観光のスポットとして姫路の魅力を発信していただけたらと思う。姫路駅で下りて真っすぐお城に行くだけでなく、行きは手柄から、帰りは姫路駅から新幹線に乗って帰っていただく感じで持っていければ良い。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の手柄山中央公園の再整備の中で、スポーツ施設はかなりハイレベルな、プロのチームが試合できるような体育館を整備するが、スポーツというものをまちの魅力の一つとして、人をより集めて、まちのにぎわいにつながるようなものにしていこうと、今回の総合計画の中でも入れていて、それは第2分科会の観光、スポーツ分野で書いている。 ・その中で、来てくれた方がスポーツを見てそのまま帰るのではなく、併せて市内の観光をしていただくような方向性は非常に大事と思うので、その考え方は取り入れていきたい。
<p>分科会会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今の話は第2分科会のほうだが、こちらとしても手柄山中央公園の魅力

分科会副会長	<p>向上と書かれているので、そことリンクする形で、もっと前面に出して書いてもいいかなと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割りになっている。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ばらばらではなく、第2分科会と方向性を同じにするというか、よりバージョンアップする形のほうが目立つと思う。やはり手柄山というのは姫路市の大きな魅力だし、外から来ると姫路城だけだが、そうではなくて、手柄山もあるよということで、駐車場がかなり使えるから、そちらに誘導して、そこから逆に駅やお城のほうに別のルートで誘導する手段を考えても面白い。もしかするとそれは自転車なのかもしれない。自転車といってもレンタサイクルではなく、乗り捨て型の自転車を大量に配置して、どこで乗り捨ててもいいという形のステーションを作っていくというような施策かもしれない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「姫ちやり」も設置されている。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩エリアだから、私も普通に武道館まで歩く。行きは徒歩で帰りは自転車乗り捨てという方法もあることを、新しい手柄山中央公園ができることによって、市民の皆様にお知らせすると良いのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク&ライドも、自転車にしたほうがいいのかもわからない。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・でも自転車ゾーンが少ない。道もあれ以上広くならないので難しい。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも手柄山から姫路駅やお城に行く道に関しては、自転車ゾーンをどこかに整備してもらおう。それで誘導すれば駅まで行けるというのがあればすごく便利になる。車で手柄山まで行って、そこから一つのルートで自転車でも行ける、あるいはシャトルバスでも行けるとなると魅力が増すと思う。

代理	<ul style="list-style-type: none"> ・手柄山の陸上競技場の改修は統合計画の中には入っていないか。というのは、老人クラブが姫路市の高齢者スポーツ大会などで陸上競技場を利用しているが、スタンドの席の勾配がきつく非常に危険である。用途が違うと言われるかもしれないが、総合計画の構想の中に入っているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場の改修は今回の構想の中には入っていない。陸上競技場は定期的（5年ごと）に改修を行っている。スタンドの老朽化という課題については認識しているが、今のところ大規模な改修は決まっていない。
代理	<ul style="list-style-type: none"> ・特にスタンドは改修していただくような取組が必要と思うが、また検討をお願いする。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。時間も押してきたので、資料1－3はこれぐらいでよろしいか。
参与	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉尻だが、目指す姿のところで「緑と調和した」のところは今回変更した内容だと思うが、この目指す姿や方向性を見ると、公園とか植樹とか緑をテーマにしている。なので、緑と調和した都市空間で、都市空間の中でどのように緑を調和させて、緑をどう定義していくかという方向性を記載している内容になっていると思う。緑と調和しただと、緑がある中に都市空間、コンクリートとか施設をどのように立地していくかという表現になっているように感じる。緑があつての都市空間なのか、都市空間の中の緑をどのように整備していくのかがぼんやりしている。もし問題提起として成り立つのであれば検討し、そこは大丈夫だというならそのまま置いてもよいが、少し気になった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・完全な都会型のまちなら分かりやすいが、姫路の全体の中で緑と言うと、郊外に行けば緑ばかりで、なかなか難しい。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域によって全然違うから。緑豊かなところばかりかということ、駅周辺はそうではない。

分科会会長	<p>・それでは政策3についてはこれで終了し、政策4「持続可能な上下水道サービスの提供」。ライフラインの一番大事なところだが、水の供給に関して何かご意見があればお願いしたい。</p>
委員	<p>・市民広報の中に「姫路市の水質はすごくいい」という広報を頂いて、言ったことを書いてくれたと思って、ありがたかった。</p>
分科会副会長	<p>・水道のことだが、甲山浄水場は先ほど出ていた県の管轄の市川から水を取っている。上流に行くとまだ川の中の樹木が伐採されておらず、氾濫したらどうなるだろうと思う。豊富の伐採は終わったが、ずっと上流は樹木がたくさん残っている。その上流から取水しているので、その辺りが氾濫したら本当に私たちにおいしい水が提供してもらえるのかなという話が先日の要望書に書かれていた。姫路市水道水の半分以上は甲山浄水場でつくっているの、県には市川が氾濫しないような整備を早くしていただくほうが良い。順番に順番にと言って、船津の辺の樹木がすごいことになっている。取水口も曲がっているし、もし濁流になったときどうするのだろうと思う。川の樹木の撤去を早く県にさせていただいたらここは安心できる。</p>
委員	<p>・水道水だが、先日飾東のほうで山火事があった。山火事が起こると消火に水道水を使うため、その地域の水道は止まってしまう。もちろんため池の水も使うが、火事を消している間は水道から消火栓を取っているの、その地域は水が出ない。そういったことを市民の方に知っておいていただかないといけない。そうかといって燃え尽きるまで放っておくわけにいかないし、そのような仕組みになっていることだけ注意していただきたいと思う。あのときは2日間、私らも泊まりきりで山の裾にいたが、水が出ないので、食事をどうしようかという状況だった。</p>
分科会副会長	<p>・水道水は、急に使うときはバルブで大量に流すというのを砥堀と大塩で見たから、そういうときは調節して大量に流すのかと思った。</p>

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・水道管が通っていて、各家庭に入る前に水量計があるが、その元から消火栓を立ち上げているので、前で使ってしまうと家には行かない。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本管のところを開けて放水しようというのもそうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。なので、水道水は便利で非常にいいが、自然災害だけでなく人的災害でもそういったことが起こり得ることを知っておいていただかないといけない。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強になった。ありがとうございます。では、もう一つ上の課題として、消火栓で消火するときに、本管が1個しかないが、そこから取っても家庭にもある程度水が行くような管の作り方はできないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それは今の貯水槽を使う、自然の池の水を使うという方法もあるが、何せ災害を大きくしないというのが第一になってくるので、そこまでの整備はできないと思う。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・分かった。では、常に家で飲料水は備蓄する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・火事が起こり得るような行動、要するに野焼きなどで大きな火事になることがあるので、市民一人ひとりが火災を出さない方法を取って、どうしても燃やさなければいけないときは、周りに水をかけて火を飛ばないようにするとか努力しないと、大勢の人に迷惑をかけることになる。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の防災の予習となった。ありがとうございます。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・何かほかに、上下水道のことで意見はあるか。特にないようなら、政策4は終わりとする。 ・資料1の分野目標に戻る。最初にご意見を頂こうかと思ったが、一応政策1から4の各論をご議論いただいた上で、一番のメイン、これでいいかご意見を頂戴したいと思う。今意見を頂いた政策1から4を総論的に一番

	<p>トップに掲げており、これで大丈夫か確認したい。</p>
委員	<p>・1点質問である。この分科会が始まって、目標等が決まりと、会議が進んでいるが、今日の時点で、ちらっと聞いたのが動物園の移転問題である。審議後出てきた新たな姫路市の中の動きがここには載っていない。新たな動きと、我々が今まで1年少しかかって会議してきた内容との絡みについてはどのように話を進めていけば良いか。</p>
分科会会長	<p>・事務局、いかがか。</p>
事務局	<p>・冒頭申し上げたように総合計画であるので、具体の事業は書かないような形にしている。</p>
委員	<p>・ただ、手柄山を第二の観光拠点にしようとしている。ところが、姫路城の動物園というのはメインのところである。メインではない小さなところは書かなくてもいいと思う。</p>
事務局	<p>・書かないということではなくて、手柄山については既に事業が動いている。文化コンベンションセンターの整備もそうだが、既に動いているものは総合計画の中で言葉が出てくる部分もあるが、動物園の移転についてはどうするか現在、検討されている段階である。</p>
委員	<p>・動物園の移転は検討段階なのか。</p>
事務局	<p>・そうである。検討段階のものも、例えば動物園の移転は、『姫路城の魅力を高めるような整備を進める』といった表現で包含するようにしており、具体的な動物園といった固有名詞は出てこない。</p>
委員	<p>・市として新たな話が出てきた場合は、我々にも情報提供してもらいたい。</p>
委員	<p>・既存の構想と検討課題を計画に入れたほうがいい。具体論のところでは、</p>

分科会会長	<p>既存があつて、新しい計画はここから始まるように既存と新規とを分けていくような、具体的な仕分けの中でやられていくのが一番親切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物園の記述は、政策1の「目指す姿」に姫路城周辺のことを書いている。動物園を今後どうするかは、また別のところで検討いただくことだが、歴史的な町並みということを出すと動物園はどうなるかなと思うが、それはここで検討することではない。 ・また別のところでそれを検討いただいて、それも含めた形で、ここでは姫路城周辺を書いているから、その中にそれも入ってくる。具体的な動物園ということは示さなくても、姫路城周辺をどうしていくかの1つとしてご理解いただいたほうが良いと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・とにかくこれから10年の計画なので、そういった新しい動きも全てこの中には入っている。ただ、それが具体的に名前が出てこないの、読んで分かりづらい部分もあると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それはそれで結構なので、その部分はこの計画の中に入っているという返答が来たらよい。今会長が言われたような形の返答であれば私も理解する。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・載せないというのではなしに、この中に包括されていると我々は理解しておいたほうが良いと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それで結構である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・我々は1年前に姫路市で実施している工事等の状況を聞いて、そこから議論を始めた。しかし、この1年の間に、もともとは計画とか構想だったものが具体化して、状況が変わったものもあるのではないかと思います。だから変わった分は、その都度教えていただくと、それを前提に今議論しようということになると思う。

分科会会長	<p>・決まったことが、今この計画を立てていく中で、全然この計画と違うとなれば書き換えが必要になると思うが、動物園はまだはっきり決まっていないので、姫路城という枠の中で今後どうするか検討しているもので、この中に含まれているという理解で良いと思う。</p>
分科会会長	<p>・資料1は、こういう形でまとめてよろしいか。</p>
参与	<p>・姫路市の総合計画、これは最上位の計画と思うが、私たちもよく地域で問題があつて、総合計画があるのでなかなかできないとか、よく言われる。つまり、これが日本でいえば憲法のような感じで、これをもとに計画がなされていく。例えば中心市街地の計画もこれに基づいて行っていると思う。だからこれは本当に最上位の計画だと思うので、今の問題とこれから起こり得る問題も含めていかないと、絶対に将来役に立たない計画になると思う。それはしっかりとお願いしたい。</p> <p>・例えば、政策1の方向性ア「地域の実情に応じた住民主体のまちづくり」において、今の公共施設は30年～40年前に建てられたと思うが、その頃と今とは全く違う。そして今、問題が起きている。今後20年、30年すればまた違う問題が起きてくる、これはまたそのときに問題になるが、少なくとも何年か先の計画だと思うので、前回と全く違う計画になってもらいたい。</p> <p>・方向性イの「公民が連携して道路等の公共空間を利活用し賑わいを創出すること」では、人口動態が違ってきた場合にどうするのかという話になってくるので、先を見据えた計画にしてもらいたい。</p> <p>・それと、委員が言われたように、人をどのように誘導していくのか。少し前はドーナツ化現象ということで、地域に施設を造った。今はコンパクトシティということで、あるところにまとめていく。その辺を踏まえた計画をしてもらいたい。</p>
事務局	<p>・今回の総合計画は令和3年度から10年間の計画ということだが、もちろん、その10年間で終わりということではなくて、その先にも続いていくものとして方向性を出すように十分気をつけて計画作りを進めていきたい。</p>

代理	・具体的な実施計画はこのメンバーは関わらないことになるのか。
事務局	・実施計画は行政が進める計画であるので、庁内で作成することになる。また個別計画の策定もしくは改訂の際には、別途、審議会を設けることになると思うので、本日お越しいただいている団体の方など、ご参画いただいた団体の方にはご意見を頂くことになると思う。
代理	・今、お話しされているのは実施計画との絡みがちょっとあるような感じがするので、今後の取り組みに関しての審議はどうするのか。
事務局	・基本構想は8月末に答申をいただきたいと考えている。そこで拾えなかった事象や、これから起こり得る事象などについては、個別計画の中で、もっと具体的に、問題に即して考えていくことになる。
代理	・また別途、新しい審議会ができるということで、了解した。
分科会会長	・ありがとうございます。
分科会副会長	・政策1の方向性ウ「ユニバーサルデザインのまちづくり」の中の「公益的施設」に関して、今、各公民館がバリアフリーでないことは皆さんご存じと思う。子どもたちが実際見学に来て、「ここはバリアフリーじゃない。バリアや」と言う。新しい公民館は土足で入れる感じでバリアフリーになっているが、多くの公民館は築40年と古く、階段も多い。エレベーターがある公民館はあるのか。
事務局	・エレベーターは、改修の際の要望としてお聞きしているが、敷地との関係があって、構造的に無理なところも多いと聞いている。
分科会副会長	・予算的なこととか敷地のこととかあるとは思いますが、やはり地域の特性を活かしてと書いてあるのなら、各小学校区にある公民館はせめてバリアフリーにしていきたい。老人会の皆さんもたくさん公民館に集って作業

委員	<p>してくださっているが、バリアフリーが一番の課題である。姫路のまちの中がきれいになるのも外向きには良いかもしれないが、やはりみんなが住んでいるところを10年の長い間に少しずつ改善、どこが先というのも考えながら地域のことも考えたバリアフリーをお願いできたらと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この分科会は、広域のインフラストラクチャー、都市基盤の整備と言われたように、個々のコミュニティの中の施設などの大きな取組、骨組みを作る分科会だというのが私の理解だが、その中で大事なのはトリップ数である。少し専門的になるが、個々人がどれだけ移動するかとか、それが基本的に必要で、私の要望としては、そういう調査があって初めて施策が展開できるので、例えば公民館を造るのでも、誰がどのように利用しているかの調査がなくて造ると、ずれてきたりする。事前の調査というところに私は重点を置いてもらいたい。 ・特に人口動態が変わってきたり、まちが変わってくると、公共交通に関わるトリップも変わる。トリップというのは旅行の回数とか、どこにどう行って泊まるかというのは、マクロで見るとマイクロで見るとかなり違いがあって、それをビッグデータとかMaaSとか、そういう中でお金をかけずにデータで調べていくことができるので、そういうデータに基づいた施策をしていただきたい。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・分野目標についてもご議論いただいたということで、ほかにもご意見があるかと思うが、時間の関係があるので次に移らせていただきたい。
分科会会長	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第の3「その他」のところを事務局のほうから願います。
事務局	<p>[説明資料] 別紙</p>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。今のご説明についてご意見等あれば願います。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これが行政の都市マネジメントのベースマップになるものと理解しているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな総合計画では、まず行政の進める範囲としていきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな団体が市内にあって、いろいろな枠組みで活動がなされている。このエリアを行政で提示させていただいたが、これに全部合わせてくださいということではない。それぞれこれまでの経験とか歴史があるので、それぞれの地域、団体においては今までどおり活動していただいて、最終的に例えば今後、何年間の中で団体の再編などがあれば、その際に参考になればというものであって、決して強制するものではない。
参与	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、今のブロックがある。今までだったら多分そのブロックの校区境の連合自治会やいろいろな団体関係が、ブロックが違くと分からないことがある。これからはその辺の関係も改善されるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・調整という形が必要になってくるものもある。
参与	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば消防だったら、分かれていたら全然分からない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・消防は校区で分けているので、どこからどこが東、どこからどこが西、どこからどこが飾磨区というような形で分かっている。
参与	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ、地域が違ったら分団長自身も知らない場合がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ところが、例えば姫路市と福崎町、加西市は活動区域かぶっているところがある。そうかといって隣が火事にならないうのに、知らないからといって行かないわけにはいかない。主にはそちらで火災が起こっている、加西市であれば、加西市と山田町というのは重なっている。そうかといって、近くで火事が起きているのを、ほっておくわけにはいかない。やはり初期消火のお手伝いには行く。

<p>参与</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな団体に境があると思うので、それが解消できたらいいと思う。
<p>分科会会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そういうのを踏まえて一応モデルを示したということか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お示しさせていただいたということである。
<p>分科会会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかに意見がないようなので第4回会議を終了する。また次回が再来週にあるので、全体を通しての大きな質問は再来週に受けたいと思う。 ・事務局から連絡事項をお願いしたい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は長時間にわたりご審議をいただきありがとうございました。 ・先ほど会長から話があったように、次回は「防災・安全安心分野」ということで、7月29日の午後2時から、会場は市役所の西側、総合福社会館でご審議いただく予定であるので、よろしく願います。 ・今日は都市基盤についてご審議いただいたが、今日この場で言えなかったが、後で気が付いたということがあれば、何なりと事務局にお伝えください。ありがとうございます。 <p>4 閉会 (11:50)</p>